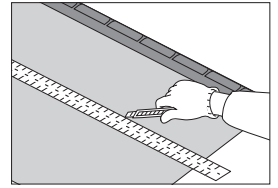


下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。
(記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。)

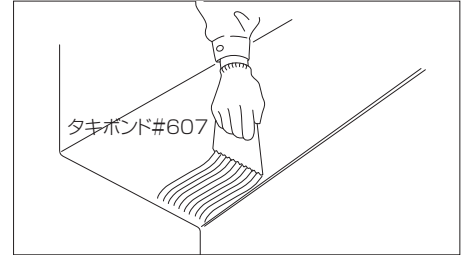
1. 下地の確認・清掃

- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行なってください。
- 下地が塗り床で浮きや欠損がある場合は、補修または撤去してください。
- ※下地の種類によっては、段鼻用充填材(タキボンド#650)を下地に接着させるためにプライマー(タキボンド#625:別売)が必要な場合があります。営業担当にお問い合わせください。
- 砂、塵埃などを除去してください。



2. 裁断

- まず、最下段の階段蹴込み面の中・高さを測定し、タキステップを裁断して、蹴込み部分用シートとして使用してください。
(残った材料は、最上段の踊り場で使用します。)
- 階段の中寸法に合わせて裁断してください。



3. 接着剤(タキボンド#607)の塗布

- 図のように床用接着剤タキボンド#607をクシ目ゴテで均一に塗布してください。
- 張り付けは、最下段から順に上段へ向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業者が最下段にいるようにしてください。

標準塗布量

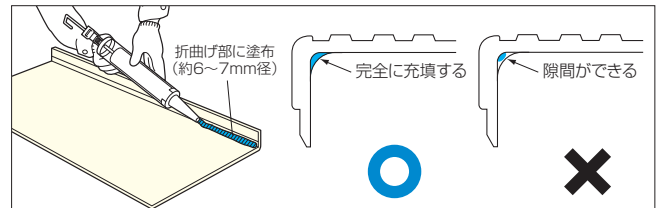
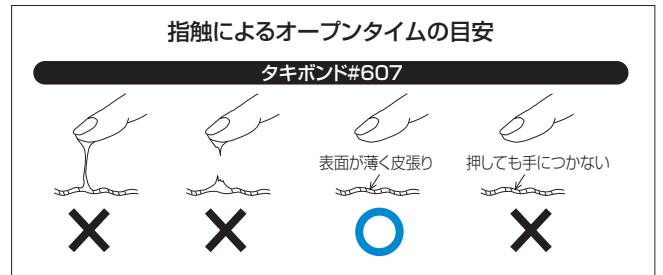
モルタル下地:300~400g/m²
非吸水性下地:250~350g/m²

4. オープンタイム

- 接着剤を塗布した後オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。
- オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。
- 5℃以下では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)

オープンタイムの目安(20℃)

接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#607	20~30分	40~50分

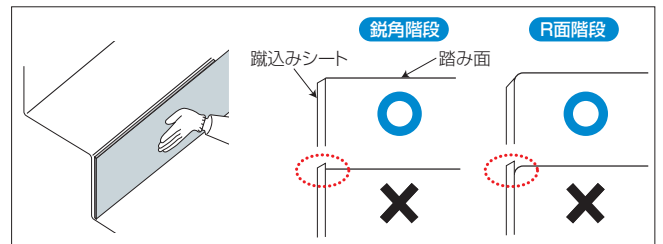


5. 両面テープの剥離紙の剥がし

- タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

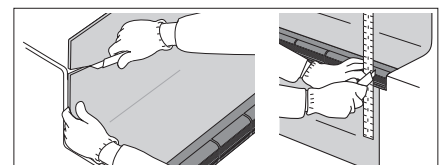
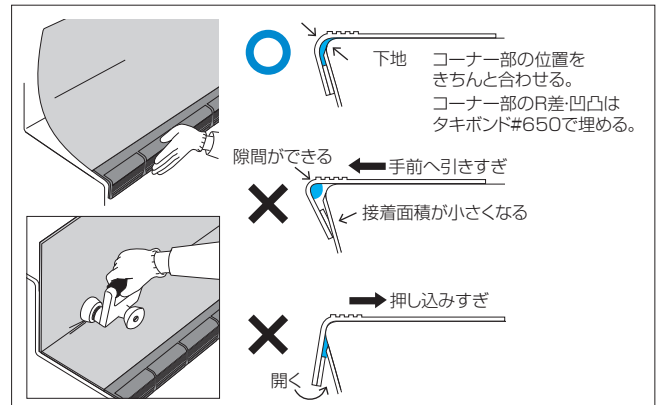
6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、**段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。**
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、**別売品を追加購入してください。**



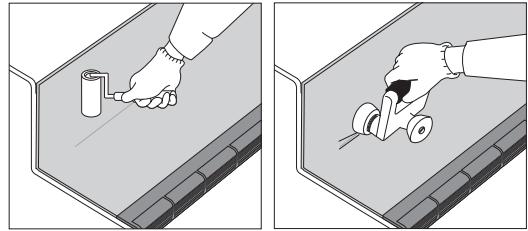
7. タキステップの張り付け

- まず、最下段の蹴込み面に、あらかじめ裁断しておいたシートを張り付け・圧着を行います。その際、蹴込み上端部からシートがはみ出さないように注意してください。
- 次に、タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)にあてがい、下地とタキステップ折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。
- 蹴込み面の張り込みは、コーナーローラーなどで軽く折りくせをつけ、**納まりにくい場合はガストーチで加熱してから納めてください。**
- 蹴込み面の張り込み時に、タキステップ裏面をカッターナイフ等で薄く切る方法は、**タキステップの破損の原因となりますので行わないでください。**
- 張り付け・圧着が完了した後、階段上端部からはみ出したシートを裁断してください。階段上端部からシートがはみ出ると、次のタキステップ段鼻部の納まりが悪くなりますので注意してください。
- 踊り場部分のタキステップは、最下段の蹴込み用シートとして裁断した残りを使用して張り付けてください。その際、タキステップの段鼻から150mm離れた部分で裁断し、タキストロンGKと張り継いでください。
- 蹴込み面端部と段鼻部端部にズレが生じた場合は、直定規で直線に仕上げてください。



8. 圧着

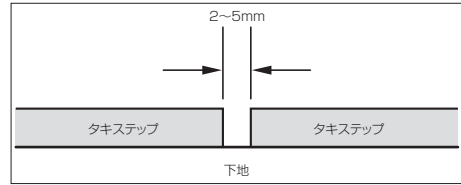
- 階段入り隅部はコーナーローラーで、それ以外の全面はハンドローラーで十分に圧着してください。
- タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)
- 階段入り隅部圧着の際には、シートに傷を付けないように注意してください。



9. 継目処理

- タキステップ同士の継目は、エンボスの谷間で2~5mm程度の間隙を空け、マスキングテープで養生後、タキシール#600(別売)にて処理を行ってください。

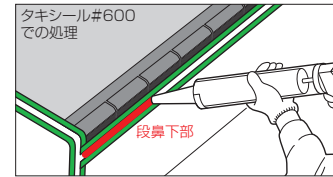
※タキシール#600が硬化するまで、最低2~3日養生してください。
養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。



10. 端部処理

- タキステップの端部をマスキングテープ養生し、タキシール#600の中が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで端部処理を行ってください。
- マスキングテープは仕上げ後直ちにに取り除いてください。

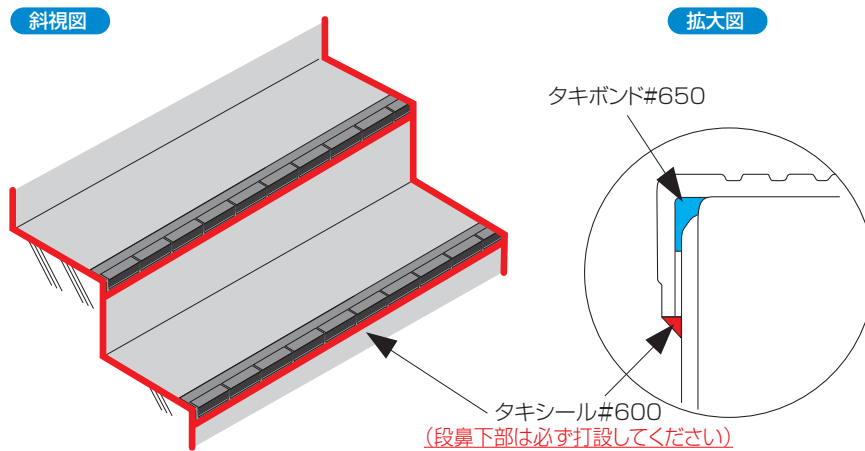
※端部処理は、前垂れの浮きや段鼻の破損を抑制する効果がありますので、段鼻下部は必ず実施してください。



11. 養生

- タキステップ施工・清掃後、タキボンド#650・タキシール#600が硬化するまでは歩行をできるだけ控えてください。
特に段鼻部はタキボンド#650が流動したまま硬化しますと、亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。
- 換気を行い、引渡しまでに数日、期間を設ける等の配慮をしてください。

標準納まり図



施工副資材 標準使用量一覧表

	タキボンド #607	タキボンド #650	タキシール #600
1800 タイプ	48段/18kg	2.7段/本	6.0段/本(段鼻下部のみ) 1.5段/本(全周)

- タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。